

1 環境

北海道の限りある資源を次世代へとつなぐ

豊かな水に代表される北海道の資源を未来へと大切に引き渡していくために、さまざまな取り組みを行っています。

Environment

今後3年間の重点項目



環境理念

北海道コカ・コーラグループは、責任ある企業市民として、地球環境の保全に配慮した事業活動を行い、地域社会の豊かな環境の維持と社会の継続的な発展に貢献します。

環境行動指針

- 1 省エネルギー、省資源に努め、環境負荷を低減します。
- 2 事業活動に伴う廃棄物の削減と再資源化を促進するとともに、汚染の予防に努めます。
- 3 環境保全に対する全従業員の意識向上を図り、グループをあげて環境保全活動に取り組みます。
- 4 地域社会における環境保全活動への協力・支援を推進します。
- 5 環境に配慮した物品の購入を促進します。
- 6 環境関連法規制、KORE（コカ・コーラシステムが定める基準）およびその他の要求事項を遵守します。

水資源保護活動の推進

コカ・コーラシステムが考える水の循環

製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。指針に掲げているのが3つの「R」。製造過程の水使用量を削減する「リデュース (Reduce)」。製造で使用する水の循環「リサイクル (Recycle)」。そして、地域の水源涵養「リプレニッシュ (Replenish)」です。



エレクトロン・ビーム殺菌 (Reduce)

札幌工場では、PETボトル製品の製造ラインでエレクトロン・ビーム（電子線）による殺菌を行っています。これにより従来の殺菌に比べて水の使用量を大幅に減らすことに成功しています。

ラグーン処理方式 (Recycle)

札幌工場の排水処理には、微生物の自己浄化サイクルを活性化させて余剰汚泥の発生量を抑える「ラグーン処理方式」を採用。国の排水基準を上回る自社基準を設けて、より高度な処理を実現させています。

水源域での森づくり活動 (Replenish)

札幌工場が使う地下水の水源が札幌市清田区の白旗山であることから、札幌市と結んだ「環境事業に関する協定」に基づき、白旗山の森づくりを進めています。地元の子どもたちが参加する体験学習「コカ・コーラ『森に学ぼう』プロジェクト」や、水の科学をテーマに北海道大学大学院環境科学院と連携した環境教育プログラム「山のがっこう」も展開しています。

白旗山での森づくり植樹累計約3,750本
協定面積1,063ha

北海道の環境保全

北海道e-水プロジェクト

北海道の豊かな環境を道民全体で保全し、未来へと引き継いでいくことを目的に2010年に「北海道e-水プロジェクト」が立ち上がりました（北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働運営）。「いーろはす 天然水 555ml」の売上の一部を同財団に寄付し、それを財源に北海道各地で水辺の環境保全に多彩に取り組む団体を支援しており、2020年度は約870万円を寄付しました。毎年11月には、活動内容を広く活発に発信する「北海道e-水フォーラム」を開催しています。2020年はコロナ禍の影響で初のオンライン開催となりました。

北海道e-水プロジェクトへの支援(累計) 約1.34億円、延べ117団体



「北海道e-水フォーラム」オンライン開催の様子



※印は市町村単位

北海道e-水プロジェクト 歴代支援団体所在地

2020年までの11年間で延べ117の団体を支援することができ、活動の輪は全道一円に広がっています。

知床世界自然遺産への取り組み

2005年、知床が世界自然遺産に登録されました。日本が誇るこの稀少な自然環境の保全に貢献することを目的に、当社は斜里と羅臼の両町で「知床応援自動販売機」の設置を展開しています。2020年度（2019年4月1日～2020年3月31日）は合わせて約85万円を寄付し、寄付金額の累計は両町で約1,615万円となりました。

北海道e-水プロジェクト



環境教育の推進

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、栗山町および同町の皆さんと連携して、1936年に建てられた旧・雨煙別小学校を2010年に体験型宿泊施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として再生しました。NPO法人雨煙別学校の運営により、小学校の宿泊学習やスポーツ少年団の合宿などが行われています。また毎年「コカ・コーラ環境フォーラム」が開催されるなど、自然に囲まれた環境教育の場としても活用されています。



雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

出張環境教育を実施

子どもたちに水資源の大切さや環境保全の意味を楽しく学んでもらうために、環境出張授業「水の授業」を展開しています。これまで道内各地の環境イベントをはじめ札幌市内の学校などでも実施し、多くの方にご参加いただきました。

環境教育参加人数(累計) 約10,150人



「水の授業」の様子